



**期間** 令和6年11月8日(金)～令和6年12月6日(金) [全5回]

**実施場所** 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ2階 (39ページアクセス参照)

**申込・  
問合せ先** 九州国際大学地域連携センター  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3  
TEL:631-2203 FAX:631-2204

**時間** 18:30～20:30

応募締切

10月25日(金)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



**定員** 30名

**受講料** 4,000円

受講生への  
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

北九州市は旧5市の合併によって誕生しました。この合併のためには、北九州工業地帯という一体化の要因が、歴史的に形成されたことが大きな役割を果たしました。しかし、旧5市は各々自然的条件が異なり、歴史的な展開によって個性をもつ地域社会として形成されました。

旧5市の歴史的個性について、今回は、主として各々の市制施行の状況とそのプロセスを見ていくことで検討していきます。

戦前の市制は、人口2万5千人が一つの基準でしたから、旧5市の人口増とその要因、それぞれの地域的課題・地域利害とその取り組みなどを通して、各市の共通性と相違点による歴史的個性を確認していきます。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	11/8 (金)	<b>はじめに：</b> 戦前北九州地域の長期的動向によって展開過程の概括を確認します。また、地域社会の歴史的個性を考える視点についても検討します。	九州国際大学 名誉教授 清水 憲一  1948年島根県生。 九州国際大学に40年間勤務後、現在名誉教授。北九州市の歴史について、『北九州市史近代現代産業経済I』、『北九州市産業史』、『新修北九州市史経済編』、『「鐵の都」八幡の誕生』など
2	11/15 (金)	<b>門司市：</b> 港湾機能も持たない寒村であったのに、鉄道と貿易の拠点に選ばれたのはなぜでしょう？その後、総合貿易港・物流・金融の中心地に変貌します。	
3	11/22 (金)	<b>小倉市：</b> 旧城下町は「軍都」に選ばれ、小倉商人の旺盛な起業活動が挫折すると、第一次大戦前は「睡れる小倉」と沈滞が続きました。	
4	11/29 (金)	<b>若松と戸畑：</b> 鉄道輸送と若松港によって、ともに石炭集散地として門司を上回っていきます。合併論がたえず繰り返します。	
5	12/6 (金)	<b>八幡市：</b> 官営製鐵所の立地と「鉄のまち」への変貌を整理します。 <b>小括：</b> 旧5市の歴史的個性の整理と比較をします。	

スポット受講  
詳細は2ページ  
料金  
1,000円/回  
2回まで